

第2回 ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム アドホック会議(OASIS/PPSTC ジョイント)議事録

日時：2006年10月3日(火) 10:00~18:00

場所：製造科学技術センター (MSTC) 第一会議室

出席者 (敬称略・順不同)

西岡靖之 (法政大学)、松川信也 (日立製作所)、川内成宏 (プロセス経営研究所)、
鈴木健司 (三菱電機)、水谷雅宏 (日本ユニシス)、前田智彦 (富士通)、
岡宗秀一 (製造技術科学センター)、馬場祐人 (書記・法政大学) 8名

資料

- ①第2回 PSLX コンソーシアム技術委員会 議事録
- ②PPS Part 1: Core Elements Committee Draft J01 rev10, Sept 20th, 2006
- ③PPS Part 2: Transaction Messages Working Draft 14, September 19th, 2006

議事内容

(午前)

(1) PSLX V2 第6部 標準 RDB スキーマモデルの検討

*RDB スキーマの E-R 図について検討された。

- ・業務の流れを想定しながら関係図の内容について説明・検討された。
- ・「10件ぐらいの実例を通して実装したものを検証し、仕様をさらに検討する必要がある」という意見が出された。
- ・作業指示などについて、実績は人間に依存し、人が調整するので、どこまでを仕様として定義し、どこまで現場に任せるのかどうか、線引きが必要であるのではないかという意見が出された。
- ・組み立て型の製造業における実例。トリガーについての記述がない。などの意見が出された。
- ・今後、RDB スキーマについて、さらに内容を作成していくことが確認された。

(2) PPS Part2 の「業務メッセージ」の内容について

*「3.メッセージ交換」および「4.メッセージ基本構成」について

p.7 ・前回からの変更点について説明され、内容について確認された。

- ・Catalog 要素に Class が追加された。
→必須か、そうでないかで区別する方法もあるのではという意見が出された。
- ・Header 要素に id 属性を追加。Condition を使わずに簡単な照会を行えることを確認した。
- ・calc 属性について、sum/ave/max/min 以外の計算(最頻値を求めたい場合など)は独自に用意しなければならないのか? 増える可能性があるのではないかという意見が出された。

～以下、業務メッセージの内容について確認された～

*「6.情報の照会」について

p.30 ・本来はボディで照会を行うが、簡易的な方法として Header 要素だけで照会を行うことができる、ということの説明が必要があるという意見が出された。

→この場合、メッセージの種類に対応(p.14)の内容と一致しないのではないかという意見が出された。

(午後)

- p.32 ・回答メッセージのヘッダ情報について、照会時の **Condition** 要素の **AND** や **OR** などといった内容が忠実に返されないので、照会内容をすべて無くすか、すべて忠実に返すべきであるという意見。
→回答メッセージの **pps:condition** を照会時と同様に **Condition** 要素へ昇格した。
・ **Selection** 要素についても検討された。
- p.33 ・通知メッセージについて説明され、メッセージ例の詳しい内容について再度検討することが確認された。

- * 「7.業務データ情報」、「8.業務ドキュメントの種類」について
・ 前回からの変更点について説明され、内容について確認された。

* 全体の内容について

- ・ クラスによって実装レベルを分けることについて、章として説明を設けたり、レベルと機能の対応表を設けたりする必要があるという意見が出された。
→レベル0を基礎的な実装として、機能が増えるに従ってレベルを上げていくこととした。

(3) PPS Part1 の「コア要素」の改定部分について

- * 前回からの変更点について説明され、内容について確認された。

(4) 国際会議 (IEC/ISO JWG 1 5) への提案内容について

- * PPS Part3 やスキーマの内容を提案することなどについて確認された。

次回予定

- 1 1 月 1 日 第 3 回技術部会 (法政大学市ヶ谷キャンパス)
1 2 月 1 3 日 第 3 回 OASIS 合同アドホック会議 (製造科学技術センター (MSTC))

以上